

「オンライン科目『地球と環境の探求（'20）』『博物館で学ぶ文化人類学の基礎（'20）』の
コンテンツ制作業務」仕様書

1-基本事項

(1) 件名

「オンライン科目『地球と環境の探求（'20）』『博物館で学ぶ文化人類学の基礎（'20）』の
コンテンツ制作業務」（以下「コンテンツ制作業務」という。）

(2) 業務概要

放送大学学園（以下「学園」という。）が2020年度に開設するオンライン科目の講義映像一
式の制作（以下「コンテンツ制作」という。）業務を行う。

学園のオンライン授業は、インターネットで講義視聴、小テスト、ディスカッション、レポー
ト課題を提出する等、全ての学習をインターネット上で進めるものである。

(3) 必要な業務経験

- ①一般向けの映像制作について制作経験があること。
- ②教材映像制作に携わった経験のある人員を配置できること。

(4) コンテンツ制作業務の内容

制作するのは以下の2科目である。

制作業務詳細は「2-制作業務内容」に記載のとおり。

『地球と環境の探求（'20）』15回構成（2単位）

『博物館で学ぶ文化人類学の基礎（'20）』15回構成（2単位）。

※各科目の制作における注意点は「4-制作科目ごとの特記事項」に記載

(5) 科目内容

各科目の科目内容はシラバス、科目設計書等の別紙資料に記述する。なお、これらの記載内容
の一部は変更となる場合がある。

(6) 制作体制

制作にあたっては、以下の業務分担をカバーする担当者名を明示した組織図を提示すること。
（業務管理、収録、編集、音声、スライド、素材収集およびデザイン、著作物一覧作成、文字
起し、校正、納品物の仕様・フォーマット等のチェック等）

(7) 納品物および最終納品日

納品物については「3-納品について」に記載のとおり。

最終納品日は下記のとおり。

- 2019年11月15日（金）：科目紹介映像（2科目分）
- 2020年1月31日（金）：映像コンテンツ等の納品物一式

（8）納品場所

放送大学学園 オンライン教育課

〒261-8586 千葉県千葉市美浜区若葉 2-11

（9）検収

学園が納品物の形式と内容、品質を確認して検収とする。

（10）請負代金の請求・支払

請負者は、全ての納品物について（9）の検収に合格したときは、請負代金を学園（担当：財務部経理課）に請求する。学園は、適正な請求書受理後、40日以内に財務部経理課から支払うものとする。

（11）成果物の帰属

- ①請負者は、本件に関連し作成した全ての著作物に関する著作権（著作者人格権を除く）が学園に帰属し、請負者側が一切の著作者人格権を行使しないことに同意すること。
- ②請負者は、学園が成果物について授業に必要な印刷物および広報を目的としたホームページや印刷物等の各種媒体で利用することを許可すること。

（12）秘密の保持

請負者は、本業務に関連して学園が開示した情報等（公知の事実等を除く）及び業務遂行過程で生じた納入成果物に関する情報を本業務の目的以外の使用又は第三者に開示若しくは漏洩してはならないものとし、秘密漏洩防止のために必要な措置を講ずること。

（13）個人情報の保護

本業務を実施するにあたり、個人情報の保護に関する法令や規範を遵守するとともに、個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利又は利益を侵害することのないよう、個人情報の取り扱いを適正に行わなければならない。

（14）保証

検収後1年以内に請負者の責任による瑕疵が生じた場合には、無償にて納品物の修正にあたる

こと。

(15) 注意事項

- ①業務の実施にあたり、故意又は過失によって第三者に損害を与えたときは、その賠償の責を負うこと。
- ②請負者は、業務の全部について、一括してまたは分割して第三者に請け負わせたり、再委託してはならない。また、業務の一部を第三者に対して請け負わせたり再委託する場合、請負者は、あらかじめ、所定の事項について学園に申請した上で承諾を得ること。
- ③この仕様書に定めのない事項または疑義のある事項については、学園と協議を行い決定するものとする。

2-制作業務内容

コンテンツ制作に当たり、各科目のシラバス、科目設計書、ロケ・ゲスト計画書をもとに、以下の業務を行う。（なお、コンテンツ制作業務で使用する基本的なソフトウェアについては、スライドはPowerPoint，編集はPremiere Proとし、学園で使用するLMSはMoodle3.5であることを前提とすること。）

(1) 講義スライドについて

- ・講義で使用するスライド、写真、動画等の素材については、請負者は講師・ゲストから必要な素材として収集し、映像内容にあわせてデザイン調整・修正等を行い、コンテンツ編集時に組み込むこと。
- ・フォントは学園と同じものを使用できる環境でコンテンツを制作すること。
- ・修正が生じた場合は学園の指示に沿って適宜修正対応を行うこと。
- ・講義スライドは収録前に完成していること。

(2) 収録について

- ・講師やゲスト等の講義映像および科目紹介映像を収録・編集する。
- ・収録用のスタジオおよび機材は学園で提供可。収録の事前セッティングは請負者側が機材確認・設営準備すること。学園のスタジオ以外の収録用スタジオを請負者側で用意する場合は、収録機材や記録用メディア、事前セッティングを請負者側で手配すること。
- ・講義にロケ映像が必要な場合はロケを行うこと。（詳細は別紙の「ロケ・ゲスト計画書」を参照のこと。）スタジオ収録時には編集済ロケ映像を用意して収録を行うこと。
- ・収録時に必要な素材（スライド、画像、動画）は収録時に用意しておくこと。
- ・収録当日のスケジュールを取りまとめ、収録関係者に事前に情報共有しておくこと。
 - ・1日あたり2回分の収録を行う想定とするが、科目によってはこの限りではない。

(3) 編集

- ・映像、スライドには必要に応じてテロップ等を挿入すること。
- ・収録後、3週間程度の期間で、講義映像、PowerPoint、文字起しなどの素材を編集する。
- ・講義収録映像または音声の編集は請負者が一括で責任をもって担当し、調整箇所を取りこぼしのないよう努める。

(4) 編集コンテンツの合同試写

- ・制作した映像、音声、文字起しデータは請負者側で校正を行い、学園教職員立会いの下、試写検収を行う。試写時に見つかった明らかな修正箇所については、学園に確認の上、スライドの修正等も含めて対応すること。なお、試写は科目ごと初回制作の一度のみ行い、次回以降は立会いを必要としない。

(5) 最終編集コンテンツの制作・仮納品

- ・制作したコンテンツは、学園が指定するホスティングサービス（Vimeo）に請負者側がアップロードし、学園教職員が視聴確認できる環境を用意すること。
- ・修正箇所がある場合は、全て反映した状態で、収録日より2か月以内を目安に最終編集コンテンツとして仮納品すること。

(6) その他

- ・請負者はコンテンツで使用するすべての著作物を所定形式で一覧に取りまとめる。
- ・著作権処理費用が発生する場合は、事前に学園職員の承認を得ること。なお、著作権処理費用は学園の負担となる。
- ・講師や関係者と密に連絡を取り合い、所定期間内にコンテンツ制作業務が完了できるように連絡、報告、相談等を適宜行い、制作にかかる進行管理を行うこと。
- ・講師、ゲストに関わる必要な経費や出演料などの学園規程に関わる支払いは学園の負担とする。
- ・その他コンテンツ制作業務に必要な業務の詳しい仕様は、請負者に対して開示する。

3-納品について

納品スケジュールを学園と協議の上作成し、そのスケジュールに沿って各回收録・編集等完了後に分納し、最終納品日までに全ての納品を完了すること。

最終納品は下記の点を順守し、指定したフォーマットで納品すること。

- ・最終納品は学園側が提供するHDD等の記録メディアによるものとする。
- ・納品するデータのフォルダ階層やフォルダ名、ファイル名などは予め学園が指定した形式にあわせて納品すること。
- ・視聴端末の学園推奨ブラウザで、制作したコンテンツの動作テストを請負者側が行い、動作に問題がないことを確認しておくこと。
- ・必ず請負者側でコンテンツ内容のチェックを完了させ、全ての納品物の仕様・フォーマット等のチェックを事前に済ませた上で納品すること。

(1) 納品フォーマット・納品仕様等

①完成映像

- ・完パケとクリーンピクチャ（白完パケ）をそれぞれ納品すること
- ・映像の最初と最後に1秒無音、最後は特別な意図がない限り黒みを1秒挿入すること
- ・下記の形式で納品すること

<FULLHD 映像>

形式 H. 264

解像度 1920×1080 29. 97P

ターゲットビットレート 32Mbps （最大：40Mbps）

オーディオ形式 AAC

サンプルレート 48kHz

チャンネル モノラル（16Mbps）

ラウドネス設定 -24LKFS ±1dB 厳守

※VU 計やピークメーターにおける数値ではなく、ラウドネスメーターで計測した数値。納品前にサンプルを提出して承認を得ること。

※その他詳細のフォーマットは、請負者に対して開示する。

②収録素材

ビデオカメラ・レコーダーで収録したオリジナル素材を納品すること。ただし、特殊なコーデックの場合は学園側と協議し適正な形式に変換し納品のこと。

③映像制作に使用した講義スライド

④著作物使用一覧

⑤文字起しデータ

⑥その他の素材（映像画像素材、構成案等）一式

4ー制作科目ごとの特記事項

『博物館で学ぶ文化人類学の基礎（'20）』

- ・ロケ収録が10箇所程度予定されている。詳細は科目設計書、ロケ・ゲスト計画書を参照のこと。